

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公表番号】特表2013-542942(P2013-542942A)

【公表日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-064

【出願番号】特願2013-535034(P2013-535034)

【国際特許分類】

C 07 K	14/20	(2006.01)
C 07 K	14/195	(2006.01)
C 07 K	19/00	(2006.01)
C 07 K	16/12	(2006.01)
A 61 K	39/00	(2006.01)
A 61 K	39/395	(2006.01)
A 61 P	31/04	(2006.01)
G 01 N	33/53	(2006.01)
C 12 N	15/09	(2006.01)

【F I】

C 07 K	14/20	Z N A
C 07 K	14/195	
C 07 K	19/00	
C 07 K	16/12	
A 61 K	39/00	H
A 61 K	39/395	D
A 61 P	31/04	
A 61 K	39/395	N
G 01 N	33/53	N
C 12 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月10日(2014.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2種以上のO s p C タイプからのO s p C ループ5領域エピトープまたはO s p C アルファヘリックス5領域エピトープ、またはO s p C ループ5領域エピトープおよびO s p C アルファヘリックス5領域エピトープの両者の組合せのアミノ酸配列を含むキメラ組換えタンパク質。

【請求項2】

前記アミノ酸配列が、5乃至13種のO s p C タイプからのO s p C ループ5領域エピトープ、O s p C アルファヘリックス5領域エピトープ、またはO s p C ループ5領域エピトープおよびO s p C アルファヘリックス5領域エピトープの組合せを含む請求項1記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項3】

前記アミノ酸配列が、同一のO s p C タイプからのO s p C ループ5領域エピトープお

および OspC アルファヘリックス 5 領域エピトープを含む請求項 1 または請求項 2 記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 4】

ヒトにおける侵襲性ボレリア感染と関連している請求項 1 - 4 のいずれかに記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 5】

前記 OspC タイプを Smar 、 Pli 、 H13 、 Fim 、 SL10 、 Mint 、 Pki 、 Pbes 、 HT22 、 Pko 、 Plj7 、 VS461 、 DK15 、 HT25 、 A 、 72a 、 F 、 E 、 M 、 D 、 U 、 I 、 L 、 H 、 Szid 、 Phetz 、 PWa 、 B 、 K 、 N 、 C および T から構成される群から選択した請求項 1 - 4 いずれか一つに記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 6】

OspC タイプを、 F 、 M 、 D 、 I 、 H 、 N および C から成る群から選んだ請求項 1 - 4 のいずれかに記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 7】

前記アミノ酸配列が OspC タイプ F 、 M 、 D 、 I 、 H 、 N および C からの OspC ループ 5 領域エピトープおよび OspC アルファヘリックス 5 領域エピトープを含む請求項 1 記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 8】

前記アミノ酸配列が配列番号 263 との間で少なくとも 95% の同一性を有する請求項 1 - 7 記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 9】

前記アミノ酸配列が、配列番号 263 のアミノ酸配列を含む請求項 8 記載のキメラ組換えタンパク質。

【請求項 10】

請求項 1 - 9 のいずれか一つに記載のキメラ組換えタンパク質を含み、個体におけるボレリア (Borrelia) 感染に対する免疫反応を誘発する組成物。

【請求項 11】

前記個体がヒトまたはイヌである請求項 10 記載の組成物。

【請求項 12】

ボレリア (Borrelia) 感染に対して個体にワクチン接種するための薬剤の調製への請求項 1 - 9 記載のキメラ組換えタンパク質の使用。

【請求項 13】

前記個体がヒトまたはイヌである請求項 12 記載のキメラ組換えタンパク質の使用。